

I 事業の概要

1. 安全品質保障事業

(1) 型式確認検査事業

① 注入式ガスライターを対象に型式確認検査（更新モデルを含む）を実施し、併せて申請時に他人の意匠・商標の抵触の有無についてチェックを行った。

日本工業規格「JIS S 4801」及び「JIS S 4803」にもとづく検査を継続して実施した。

- ・型式確認証明書の発行 5件
- ・更新証明書の発行（有効期間満了に伴う）25件
- ・英文証明書の発行 4件

② 「VAPE自主安全評価基準」に基づきVAPEの型式確認検査制度を実施した。

- ・型式確認証明書の発行 3件
- ・更新証明書の発行（有効期間満了に伴う）1件

(2) 安全基準国際化対応事業【(継1) 安全基準国際化対応】

ディスポライター事業の項へ別掲

2. ディスポライター事業

(1) 型式確認検査事業【(継2) 消費者安全確保】

ディスポライターを対象に型式確認検査（更新モデルを含む）を実施し、併せて申請時に他人の意匠・商標の抵触の有無についてチェックを行った。

日本工業規格「JIS S 4801」及び「JIS S 4803」にもとづく検査を継続して実施した。

また、国の登録検査機関による「適合性検査」に適合したモデルについては、検査適合証明書のコピー提出を受け本会による検査を省略し、型式確認証明書を発行した。

- ・型式確認証明書の発行 3件
- ・更新証明書の発行（有効期間満了に伴う）8件

(2) ラベル発行事業

型式確認検査適合製品には会員各社において「型式確認適合品」の統一表示を実施した。

- ・表示申請会社：6社
- ・申請出荷数量：140,313,000個（前年比98.2%）

(3) 輸入検査事業

ライターの輸入検査手続に関する試験成績書を発行した。

件数：5件

(4) 市場対策PL事業【(継2) 消費者安全確保】

- ① 生産物賠償責任保険（PL保険）の付保
- ② 苦情事故処理対策
- ③ チャイルドレジスタンス規制に関連した情報収集及び分析

(5) 店頭サンプリング調査事業【(継2) 消費者安全確保】

型式確認モデルが、流通段階においてもJIS基準に則した安全性を保っていることを確認するため、市場においてサンプリング調査を実施した。問題のあったモデルについては、当該発売元に対して改善指導を行った。

- ・サンプリング：会員製ディスポライター5モデル
(各33個)を購入
- ・検査確認項目：
 - ・型式確認登録の確認
 - ・型式確認適合品表示の確認
 - ・JIS S 4801検査を実施(可燃性を除く)

(6) 安全基準国際化対応事業【(継1) 安全基準国際化対応】

<ISO>

2022年6月22日(水)に米国ワシントンDCにて、ISOライターの作業グループ(WG10)がWEBと対面式のハイブリッドで開催され、本会から5名がリモートにて出席した。たばこライター並びに多目的ライターの国際規格であるISO9994及び22702で用いられているセーフティサインの4つのうち、懸念となっている「子供から遠ざける」と「50°C超えの高温又は長時間日光に絶対さらさない」の2つについては、従来のISO9994の安全表示を引き続き使うということで合意し、SC4会議でSC4に強く働きかけるということが確認された。USBライターについては、米国のASTMの会議でも議論があった模様で、コンビーナから、WG10としてもISO標準の作成を進めたいとの意向が示され、メンバーに積極的な参加者を求めるとの要請、報告があった。今後の会議開催については、コンビーナより日程調整、会議の開催方法等をWGメンバーに問うこととなった。

<JIS>

JISS4801「たばこライター安全仕様」とJISS4802「多目的ライター安全仕様」及びJISS4803「チャイルドレジスタンス安全仕様」の改正は、2021年11月に経済産業大臣より承認され、2022年1月に公示された。消費生活用製品安全法の運用及び解釈の改正通達は、令和5年7月頃に発出される予定となっている。

3. 技術関連事業

(1) 技術開発事業

(2) 工業所有権調査事業

日本及び海外の工業所有権のウォッチング

4. 流通振興事業

(1) 総合カタログ発行事業

会員並びに流通業者、販売店の円滑な商取引に供するため、会員の製品、取り扱い商品を収録した「2023喫煙具総合カタログ」を制作・頒布した。また、本カタログは平成28年よりいつでもどこでも閲覧できるようデジタル化し、本会HPにアップ、専用アプリ「iC a t a」のダウンロードにより、タブレット・スマホでも閲覧可能である。

- ・制作部数：1,690部(A4判)
- ・掲載会社数：15社
- ・総ページ数：240ページ

※多くの小売店等に配布いただけるよう、1ページあたりの掲載につきカタログを2冊無償配布した。

(2) イベント開催事業【(継3) 普及啓発】

今年度のキャンペーン活動も、新型コロナウイルス感染症の拡大終息が不透明ななか、コロナ渦であっても、開催できるような内容に計画変更して実施した。

【キャンペーンの実施概要】

●ぬり絵募集及びチラシ配布施策

- ・ライター火遊びの危険性を伝える読み聞かせイベントを東京・大阪の幼稚園各3園で開催。文化放送アナウンサーによる「ブーちゃんのはなはアッチッチのきけんしんごう」の読み聞かせ動画DVDを、園児に見せた後、先生が火遊び危険にまつわるQ&Aを園児に行い、火遊びをしないことを約束したうえでぬり絵を描いてもらった。約束の印としてほのおじさん、ワルゾーの缶バッチをプレゼントした。

※ぬり絵回収枚数：326枚（東京：181枚 大阪：451枚）

- ・幼稚園/保育園で配布される「ファミリーキッズノート」に火遊び事故防止チラシを同梱し、園の先生から子どもまたは保護者に直接手渡しで配布した。

※A5サイズチラシ 12,350部（東京：6,150部 大阪：6,200部）

●ラッピングバス運行施策

- ・みんなのぬり絵バスを2台運行

園児に描いてもらったぬり絵をデザインしたラッピングバスを以下のエリアで運行した。

○都営バス 南千住営業所（管内全域）

2023年2月1日～2024年1月31日

○大阪シティバス 西島営業所（管内全域）

2023年2月1日～2024年1月31日

●文化放送「第16回ラジオCMコンテスト」協賛

- ・「子供を守る、ライター4か条」をラジオCMコピーの課題として、課題のPR番組を収録し、10月20日～12月20日の期間に作品を募集した。本会のCMには1,474通の応募があり、1次審査の結果、3作品が入賞した。最終審査の模様及び受賞作品の発表は、3月28日（火）に文化放送の特別番組『第16回ラジオCMコンテスト～ずーっと前からオーディオアド』で放送され、1作品が審査員賞を受賞した。

●文化放送活動周知施策

- ・「くにまる食堂」内「相席よろしいでしょうか」コーナーへの深代会長生出演
11月11日（金）番組内コーナー「相席よろしいでしょうか」に深代会長が出演。番組パーソナリティの野村邦丸との掛け合いで、協会が取り組むライター事故防止啓発や型式確認制度、ライターの日についてリスナーに訴求した。
- ・10秒スポットCM×40本放送
「火遊び事故防止」「ほのおのマーク」を訴求する10秒CMをそれぞれ制作し、文化放送ラジオにて11月1日～11月11日の間に各25本、計50本放送した。

●喫煙所ビジョン「Hito-iki Vision」30秒CM配信

- ・11月1日～12月31日の間、都内13ヶ所の喫煙所内に設置しているモニター「Hito-iki Vision」で30秒CMを配信した。

- 渋谷スクランブル交差点屋外ビジョン「DHCチャンネル」30秒CM配信
 - ・11月7日～11月13日の間、渋谷スクランブル交差点にある屋外ビジョン「DHCチャンネル」で30秒CMを1時間につき7回放映した。

- Twitterプロモビデオ 30秒CM配信
 - ・Twitterのタイムラインや検索結果に30秒CMを配信した。

(3) カード・シール発行事業

型式確認検査適合製品には会員各社において「型式確認適合品」の統一表示を実施した。

- ・表示申請会社：8社
- ・申請出荷数量：113,018個（前年比30.0%）

(4) 国内需要動向調査事業【(継6) 国内需要動向調査】

喫煙具の市場実態を把握するために、「喫煙具の製造、輸入、販売に関する調査」を実施、(株)矢野経済研究所に調査を委託した。

- ・調査内容：シガレットライター及び関連製品の国内生産実態、輸出・輸入実態、国内市場規模、ルート別・用途別出荷比率

(5) 店頭サンプリング調査事業【(継2) 消費者安全確保】

型式確認モデルが、流通段階においてもJIS基準に則した安全性を保っていることを確認するため、市場においてサンプリング調査を実施した。問題のあったモデルについては、当該発売元に対して改善指導を行った。

- ・サンプリング：会員製注入式ガスライター3モデル
(各10個)を購入
- ・検査確認項目：
 - ・型式確認登録の確認
 - ・型式確認適合品表示の確認
 - ・JIS S 4801検査を実施（可燃性を除く）

(6) アドバイザー資格認定事業【(継5) アドバイザー資格認定】

喫煙具全般に関する正しい知識、的確なアドバイスを提供できる人材の育成を目的とし、「喫煙具アドバイザー資格認定講座」を本会において開催する予定であったが、コロナ禍により中止とした。

(7) 市場対策PL事業【(継2) 消費者安全確保】

- ① 生産物賠償責任保険（PL保険）の付保
- ② 苦情事故処理対策

(8) ホームページ運営事業【(継4) 広報】

定期的にコンテンツ内容の更新を行った。

- ・アクセス件数：118,287件（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
 - ※ 開設日（H12.12.15）からの累計：1,426,543件
- また、より多くの一般消費者に本会活動等について情報発信するために、本会Facebookページを公開している。（令和5年3月31日現在 フォロワー数：97人）

(9) スモコレ事業【(継3) 普及啓発】

スモコレ実行委員会事務局では、当初開催する方向で計画していたが、コロナ禍により中止を決定した為、本会事業も中止とした。

(10) パイプスモーキング事業【(継3) 普及啓発】

日本パイプクラブ連盟主催の「第46回全日本パイプスモーキング選手権大会」開催にあたり、運営協賛した。

- ・開催日：令和4年10月2日（日）
- ・会 場：名古屋三越栄店屋上「ビアガーデン・マイアミ」
- ・競技参加者数：113人

5. ボンベ事業

(1) ラベル発行事業【(継2) 消費者安全確保】

高圧ガス保安法に準じて製造販売されるライター用ガスボンベに対して、会員製品ボンベラベルを発行した。

- ・交付申請会社：3社
- ・発行枚数：417,000枚（前年比38.0%）

(2) 市場対策PL事業【(継2) 消費者安全確保】

- ① 生産物賠償責任保険（PL保険）の付保
- ② シールPR等

6. 振興事業

(1) 人材育成事業【(継7) 人材育成】

- ① 人材養成セミナーの開催
コロナ禍の影響により中止

(2) 後継者育成事業

- ① 青年部活動
 - ・ 全体会 開催中止
 - ・ 委員会 2回開催
 - ・ 講演会の企画 開催中止
 - ・ 施設見学会 開催中止
 - ・ ユーザー向け啓発キャンペーンの企画・運営
流通振興事業の項へ別掲

(3) 交流活動事業

- ・ 活動の中止

(4) 協会ニュース発行事業【(継4) 広報】

- ・ 年3回協会ニュースを発行した。

(5) 関係行政機関よりの調査等依頼

経済産業省・東京都等から 業界の動向、実情等について調査及び情報提供の依頼、要請があった。

- ・団体の概要調査
- ・業種別動向調査

7. 建物管理事業

- ① テナント管理
- ② 地域防犯、防災対応
- ③ メンテナンス
 - ・空調設備
 - ・消防設備
 - ・電気設備
 - ・給排水設備
 - ・エレベータ設備
- ④ 駐車場管理
- ⑤ 会議室貸出